## 防災士\*派遣委託等 実施報告書

特定非営利活動法人 防災士会みやぎ

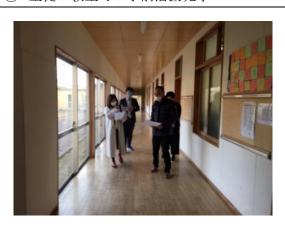
<ul> <li>作名 No.40令和2年度 大崎市立古川南中学校防災研修</li> <li>依頼 先 大崎市総務部防災安全課(大崎防第685号R.2.10)</li> <li>開催場所</li></ul>	<u></u>	
開催日時 令和2年11月27日 8:30~10:30  大崎市立古川南中学校 ご担当者:狩野 昌子先生(主幹教諭) 聴 講 者 大崎市立古川南中学校1年生  講 師 等 (講 師)保田真理 (補助者)高橋弘樹  活動概要 (内容、 避難のタイミングとどこに避難するかを考えクラスの仲間と話し合いをしている。 第二部:災害への備えを避難行動に活かすというタイトルで、避難を考えるなど) 材料として、バザードマップをしっかり値認すること、過去の被害も参考にして自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認しておくことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。 気づき、 コロナ禍で、体育館に学年全員を入れるために、感染対策も工夫されていた。市の指定避難所が水害ではほとんど使えないことから、指定避難所そのものを見直すことも必要だが、各自が安全な場所を見つけて避難場所を決めておくことの重要性を再確認した。また、大崎市から担当職員が参加されたので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置されていることなど改善点も指摘した。 生徒の家庭での備えはまだめまったばかりで十分では無い印象を受けたが生徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも避難に関するコンセンサスを他認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。要望があれば、引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。	件 名	No.40令和2年度 大崎市立古川南中学校防災研修
開催場所 大崎市立古川南中学校 ご担当者: 狩野 昌子先生(主幹教諭) 聴 講 者 大崎市立古川南中学校1年生 講 師 等 (講 師)保田真理 (補助者)高橋弘樹 活動概要 (内容、 避難のタイミングとどこに避難するかを考えクラスの仲間と話し合いをした。 ム、行程 第二部:災害への備えを避難行動に活かすというタイトルで、避難を考える材料として、ハザードマップをしっかり確認すること、過去の被害も参考にして自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認しておくことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。 気づき、 参観者の 株子、工 夫した 点、今後 のための で、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置されているためのののが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも避難に関するコンセンサスをしつかりと取る必要性がある。要望があれば、引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー パワーポイントを使って講演した。	依頼先	大崎市総務部防災安全課(大崎防第685号R. 2. 10)
聴講者 大崎市立古川南中学校1年生  講師等 (講師) 保田真理 (補助者) 高橋弘樹 活動概要 ((内容、 遊難のタイミングとどこに避難するかを考えクラスの仲間と話し合いをした。 第二部: 災害への備えを避難行動に活かすというタイトルで、避難を考える 材料として、ハザードマップをしっかり確認すること、過去の被害も参考にして自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認しておくことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。 気づき、 参観者の ために を関すが水害ではほとんど使えないことから、指定避難所その た。 市の指定避難所が水害ではほとんど使えないことから、指定避難所その た。 市の指定避難所が水害ではほとんど使えないことから、指定避難所その たったので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置されていることなど改善点も指摘した。 生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー パワーボイントを使って講演した。	開催日時	令和2年11月27日 8:30~10:30
聴講者 大崎市立古川南中学校1年生 講師等 (講師) 保田真理 (補助者) 高橋弘樹 活動概要 (内容、 プログラ た。 多、行程 など) 第二部:災害への備えを避難行動に活かすというタイトルで、避難を考える 材料として、ハザードマップをしっかり確認すること、過去の被害も参考に して自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発 令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認してお くことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。 気づき、 参観者の 様子、エ 夫した 点、今後 のための のための 参考とな 名事項等 を提定の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒 も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどの要がある。また、家庭でも 避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー ル	開催場所	
講 師 等 (講 師)保田真理 (補助者)高橋弘樹 活動概要 (内容、 避難のタイミングとどこに避難するかを考えクラスの仲間と話し合いをしてログラ た。		
講師等 (補助者)高橋弘樹 活動概要 (内容、避難のタイミングとどこに避難するかを考えクラスの仲間と話し合いをした。 プログラ た。  私、行程 第二部:災害への備えを避難行動に活かすというタイトルで、避難を考えるなど) 材料として、ハザードマップをしっかり確認すること、過去の被害も参考にして自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認しておくことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。  気づき、 コロナ禍で、体育館に学年全員を入れるために、感染対策も工夫されていた。市の指定避難所が水害ではほとんど使えないことから、指定避難所そのものを見直すことも必要だが、各自が安全な場所を見つけて避難場所を決めておくことの重要性を再確認した、また、大崎市から担当職員が参加されたので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置されていることなど改善点も指摘した。 を考とな 生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマルを持っている生徒も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	入崎市立古川曽中子仪工年生
(内容、 避難のタイミングとどこに避難するかを考えクラスの仲間と話し合いをした。 第二部:災害への備えを避難行動に活かすというタイトルで、避難を考えるなど) 材料として、ハザードマップをしっかり確認すること、過去の被害も参考にして自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認しておくことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。 コロナ禍で、体育館に学年全員を入れるために、感染対策も工夫されていた。市の指定避難所が水害ではほとんど使えないことから、指定避難所そのものを見直すことも必要だが、各自が安全な場所を見つけて避難場所を決めておくことの重要性を再確認した、また、大崎市から担当職員が参加されたので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置されていることなど改善点も指摘した。 生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要性も感じる。 配布資料使用ツーパワーポイントを使って講演した。	講師等	
プログラ た。	活動概要	第一部:気象庁から発表される注意報から特別警報の表を見ながら、生徒が
<ul> <li>ム、行程 第二部:災害への備えを避難行動に活かすというタイトルで、避難を考える 材料として、ハザードマップをしっかり確認すること、過去の被害も参考にして自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発 令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認しておくことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。</li> <li>気づき、</li></ul>	(内容、	避難のタイミングとどこに避難するかを考えクラスの仲間と話し合いをし
など) 材料として、ハザードマップをしっかり確認すること、過去の被害も参考にして自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認しておくことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。	プログラ	た。
して自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認しておくことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。  気づき、	ム、行程	第二部:災害への備えを避難行動に活かすというタイトルで、避難を考える
令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認しておくことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。  気づき、	など)	材料として、ハザードマップをしっかり確認すること、過去の被害も参考に
気づき、		して自宅の被害を想定すること、気象庁から発表される情報をもとに市が発
気づき、 お観者の た。市の指定避難所が水害ではほとんど使えないことから、指定避難所その ものを見直すことも必要だが、各自が安全な場所を見つけて避難場所を決め ておくことの重要性を再確認した、また、大崎市から担当職員が参加された 点、今後 ので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置され ていることなど改善点も指摘した。 生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生 徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒 も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも 避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー パワーポイントを使って講演した。		令注意報から警報までのどこで避難行動を起こすべきか、事前に確認してお
参観者の た。市の指定避難所が水害ではほとんど使えないことから、指定避難所そのものを見直すことも必要だが、各自が安全な場所を見つけて避難場所を決めておくことの重要性を再確認した、また、大崎市から担当職員が参加されたので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置されていることなど改善点も指摘した。生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料使用ツール		くことなどを、災害の状況変化と認知バイアスから説明した。
様子、工 夫した 点、今後 のための 参考とな る事項等 をは正しい情報の取得方法なども指導して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー ル	気づき、	コロナ禍で、体育館に学年全員を入れるために、感染対策も工夫されてい
大した 点、今後 ので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置され ので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置され ていることなど改善点も指摘した。 生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生 徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒 も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今 後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも 避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー パワーポイントを使って講演した。	参観者の	た。市の指定避難所が水害ではほとんど使えないことから、指定避難所その
点、今後 ので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置されていることなど改善点も指摘した。 生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生 徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも 避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、 引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー パワーポイントを使って講演した。	様子、工	ものを見直すことも必要だが、各自が安全な場所を見つけて避難場所を決め
のための でいることなど改善点も指摘した。 生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生 徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒 も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今 後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも 避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、 引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー パワーポイントを使って講演した。	夫した	ておくことの重要性を再確認した、また、大崎市から担当職員が参加された
参考とな 生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生 徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒 も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今 後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも 避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、 引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。  配布資料 使用ツー パワーポイントを使って講演した。	点、今後	ので、備蓄物資が納められている倉庫が浸水域になっている校庭に設置され
る事項等	のための	ていることなど改善点も指摘した。
も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。  配布資料 使用ツー ル	参考とな	生徒の家庭での備えはまだ始まったばかりで十分では無い印象を受けたが生
後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも 避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、 引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー ル	る事項等	徒からは改善の意思が感じられた。情報の取り方もスマホを持っている生徒
避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、 引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー パワーポイントを使って講演した。		も多かったが、エリアメールを確認した生徒はほとんどいなかったので、今
引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。 配布資料 使用ツー ル パワーポイントを使って講演した。		後は正しい情報の取得方法なども指導して行く必要がある。また、家庭でも
配布資料 使用ツー パワーポイントを使って講演した。 ル		避難に関するコンセンサスをしっかりと取る必要性がある。要望があれば、
使用ツー パワーポイントを使って講演した。		引き続き学校へのアドバイスを継続して行く必要性も感じる。
<b>ル</b>	配布資料	
	使用ツー	パワーポイントを使って講演した。
報告者 保田真理	ル	
	+11 /+ +/.	保田貞翔

## 添付資料、写真等

## ① 生徒の教室での事前活動



② 生徒の教室での事前活動見学



③ 講座の様子



④ 講座の様子



⑤ 講座の様子



⑥ 生徒代表からの感想発表

